

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3370107173		
法人名	医療法人REGIONO		
事業所名	グループホーム あおぞら2		
所在地	岡山県岡山市南区中畦421-5		
自己評価作成日	令和6年 1月12日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3370107173-00&PrefCd=33&Versi
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・担当者が家族様に手紙を書き様子を知らせ、写真も一緒に送っている。 ・月に1～2回、誕生日会や行事を、また行事がない月はおやつ作りをしている。 ・一日3回の食事は職員が手作りしている。また、特食などで利用者様の希望を聞いて食べたい物を作っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・利用者様が出来ることは利用者様にしてもらい、一人できないことは職員と一緒にしている。 ・利用者様がゆっくりとマイペースで過ごされていてアットホームな感じのところ。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価		外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者の方がいつも笑顔で良い生活を送れるように個々のサービスを充実させ、その人らしい日々を元気で仲良く過ごしていただけるように心掛けている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	その人らしい生活を送れているように穏やかで笑顔が見られた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☒ D.ほとんどできていない	コロナのため外出などは控えているので行えず。	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☒ D.ほとんどできていない	コロナの為中々外出が出来ていなく、交流が減っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	受け入れ体制はあり、職員は勉強会、研修を受けている。依頼があれば相談に応じます。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	2カ月に1回の運営推進会議で意見をいただいている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	R5年度から書面でなく、対面での運営推進会議を2カ月に1回行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	必要に応じて市の職員や包括支援センター等にも相談したり指導・助言をいただきたい。市の職員や地域包括支援センター等に必要に応じて相談したり、運営推進会議に参加していただき、指導、助言をいただいている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	身体拘束はしていないが、法人全体で3カ月に一回研修並びに検討会議を行っている。年に2回は職員全員で勉強会をしている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	身体拘束はしていないと言われていたので、今のまま身体拘束をしないようにして欲しい。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	法人で虐待防止委員会を6カ月に1回行っている。年に1～2回は職員全員で勉強会をしており、ケアに役立てている。			

自己	外部	項目	自己評価 実践状況		外部評価	
					実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	この制度については、代表者、管理者が家族からの相談に対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	契約時に説明した後、質問・疑問などに答え、納得した上で同意を得て、サービスを利用していただいている。又、よくわからない所があった時はもう一度家族の方が納得するまで説明させてもらう。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	面会自粛のため直接訪ねることは少ないですが、電話などで申し出があった場合は早急に対応するようにしている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様や家族の要望など早めに対応するようにしている。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	代表者と共に、毎月1回ミーティングを開催し、参加職員が意見交換し易いようにしている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	職員全員で情報を共有している。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	定期的に訪問し、管理者や職員一人ひとりに聞き取りをし、個々の相談にも対応している。職場環境の改善にも努めていただいている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	職員全体の課題を共有できる機会の設定、仕事上の問題点を話し合う機会を作っている。管理者が一人一人に声を掛け、話をする機械を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	毎月1回のミーティングに参加し意見交換質の向上を図り、困難事例等に取り組んでいる。地域にある他の事業所と交流や勉強会をしていきたい。今は新型コロナウィルスのため、なかなか同業者と交流する機会がないが新型コロナウィルスが収まった時は交流していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	サービス開始前に、生活歴を参考にしながら、ホームでの生活でどのように過ごしたいか等、本人・家族から意見を聞き、暫定プラン作成している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個々に抱える家族の介護に対する不安、利用者との問題点の軽減 困っていることや、要望などを聞き、プラン作成している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	情報収集はしっかり行ない、会話をする中で、利用者と家族の思いを受け止め・把握・対応・支援につとめる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	共に生活している中で何ができるか、何が好きな事かを一緒に作業したり、話し合う中で探している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	月に一度家族の方にお手紙を出している。家族が県外の方にはお手紙の他、こまめに電話で連絡を取るようになっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	コロナのため面会自粛をさせて頂いているが、オンラインで面会が出来るようにしたり、電話等でお話ができるようにしている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	コロナでなかなか難しいですが、5類になったので少しでもいいので関係継続をしてほしい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	外出は行えていないが、レクリエーションを通じて仲間づくりのお手伝いをさせていただく。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様が退所された後も家族様より相談があったときはその都度対応して支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者ごとに職員で担当者を決め、日頃から関わりを持ち、希望や要望を取り入れ、一人一人のサービスの改善に努めている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様の意向を聞いて一人ひとりにあった介助をしている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個人個人の生活リズムに沿ったプランを作成し、月一回会議を開き、職員全員に状況把握してもらい、サービス改善に役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	毎日個人ごとの介護記録に、生活状況や、バイタル、食事量、排泄など記載し、職員全体で現状把握できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	介護記録をもとに、定期的にプランの見直しを行い、家族や本人からの意見を参考に職員で話し合い、次回のプラン作成に役立てている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	カンファレンスで一人ひとり合った介護はどうしたら良いのか話し合っている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個人ごとの介護記録に生活状況や実践結果など記載し、介護計画見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	ケアする上で、困難なことや、問題が発生した場合は、利用者の方の希望を尊重し、職員で話し合い、家族に意見を求め、問題解決できるよう努力している。		

自己	外部	項目	自己評価 実践状況		外部評価	
					実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	隣が郵便局にて、利用に応じて付き添い同行している。必要に応じて本人の希望を聞き、買い物のお手伝いをしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	サービス開始前にかかりつけ医の確認を行っているが、ホームに入居されてからも継続できるようにしている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	医療法人なので家族様の希望を聞きながら対応している。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	看護師に利用者全員の状態を把握してもらい、必要に応じて医療的な処置や、相談などを受けてもらっている。又、受診時には情報提供をもらい、担当医に分かり易く説明している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	担当看護師や相談員に状態を尋ね、退院してからの介護プラン作成に役立てている。退院日については、病院側、家族の都合に合わせて決定している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	契約時に、重度化した場合や終末ケアや看取りについての方針の説明を行い、同意してもらっている。状態変化と共に早急に対応できるように、日頃から状態変化に気づくよう努力している。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	家族様と話し合い家族様の希望に沿うようにしている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	実践的な訓練を定期的に行ってはいるが、年に2回ぐらい、カンファレンスでの勉強会を通じて机上の模擬訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	夜間想定避難訓練も行っており、入居者や職員が参加している。消火器の使用方法や、消防署への連絡の仕方など、全職員が把握できるように、年2回訓練を行っている。	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	避難訓練はしているが、災害時にどうやって避難するか、十分な災害グッズを用意したほうが良い

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	入居者を尊重しプライバシーの確保もし、その人に合った適切な言葉かけ対応を心がけている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様に対して一人ひとりに合った対応をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者が、自分の思いや、要望が言える時間や環境作りを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	日々その人らしい生活があり、その時に応じて対応していく。個人に負担のかからないように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	本人の希望合わせ、必要に応じて整髪介助したり、本人が気持ち良く着替えが出来るよう、衣服の選択を一緒に行ったりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	して頂けることを考え、洗い物や野菜の皮むき・カットなどをお願いする。月1～2回特別メニューの日を作り、いつもと違うものを提供し目先を変えることで楽しんで食べている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	職員が三食手作りで食事を作っているのがすごいと思う。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個人に合った食事形態 旬なものや、好物などを取り入れ食べることを楽しみにしてもらっている。食事量は記録に記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	毎食後は全員に歯磨きの声かけや、お手伝いをしている。週一回コップ・歯ブラシを消毒し、清潔を心がけている。口腔内の状態のチェックをし、本人からの入れ歯の不快感などの訴えがあれば歯科受診している。		

自己	外部	項 目	自己評価		外部評価		
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個人の排泄パターンを把握し、必要に応じて介助(誘導・声掛け)を行っている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	一人ひとりの排泄のパターン習慣を把握して誘導声掛けをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	排泄チェック表にて確認、排便状態を把握し、個人に合った排便コントロールを行っている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	本人のペースに合わせて入浴を行っている。体調不良・バイタルチェックにて対応している。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様の希望を聞いて対応していると思う。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	個人の生活習慣を把握し、安心して眠っていただけるように状況に応じて援助している。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	薬箱に入れて保管している。薬の説明書は個人ファイルに綴じて副作用や用法・容量など確認できるようにしている。服薬時には誤薬のないよう他の職員と確認し又服薬前に2度日付と時間帯、名前を確認している。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	掃除や洗濯をたたんだりなど個々に役割をもって作業していただいている。余暇活動では、希望に沿った援助を行っている。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	コロナのため外出していない。	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☒ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	コロナのため、今はなかなか難しいと思いますが、これから先は支援してください。	

自己	外部	項 目	自己評価 実践状況		外部評価	
					実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A.十分にできている ☐ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☒ D.ほとんどできていない	日用品など、買いたいものがあれば個別で買い物に行けるよう援助している。買い物時の支払いは、個々によって異なるが、できる方にはご自分でしていただいていたが、今は新型コロナウイルスのためなかなか出来ていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	希望があれば、お手紙を隣の郵便局へ投函したり、電話を使用していただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	バリアフリーにしており、生活しやすいように工夫している。季節感のある壁面を毎月皆で作成し、飾っている。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様が笑顔でとてもアットホームな感じに思えた。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	テーブルの数を増やし、席替えをして、気の合う利用者同士で過ごしていただいている。又、一人になりたい時は、ソファに座られたり・居室に戻られたりされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	居室には使い慣れた家具や生活用品などを持ち込んでいただき、個人に合った環境に配慮している。	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	利用者様が昔から使っているものを持ってきてもらったり工夫していると思う。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	☐ A.十分にできている ☒ B.ほぼできている ☐ C.あまりできていない ☐ D.ほとんどできていない	居室の入り口には、本人の表札・居室番号などを飾り、分かり易くしている。トイレ・浴室にも分かり易いように表示をしている。		

(別紙4(2))

事業所名 :グループホーム あおぞら2

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	言葉による拘束が時々あるように思われる。	職員一人一人が優しさをもって利用者様に傷つける言葉を言わないようにする。	カンファレンスや研修で職員が勉強していく。また、職員全員で注意しあうようにする。	12ヶ月
2	36 38	利用者一人一人がその人らしい暮らしを続けていくための日々の支援。	職員の都合ではなく利用者様一人ひとりのその人らしい、生き生きとした生活を過ごしてもらう。	アセスメント、ケアプラン作成、そしてモニタリングを協議協力してケアマネジメントを組み立てていく。	12ヶ月
3	35	避難訓練は年2回しているが災害時の防災グッズを用意できていない。	最低3日分は困らない量の食糧を用意する。	パット、紙パンツなどのオシメ類や水、食料を最低困らない量を常に用意する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。